

指定管理者最終総合評価

江戸川区立小岩図書館、松江図書館、小松川図書館、東部図書館

評価項目		評価理由		
1	施設運営に関する事務	平成 25 年度から運営している経験と実績を踏まえ、安定した運営を行っている。地域まつりへの参加や学校、町会、商店街などと協働した事業に取り組み、地域と積極的な関わりを持つことで、図書館の認知度向上を図っている。乳幼児や児童、中高生向けの事業展開にも積極的に取り組んでいる。		
2	利用者サービスに関する事務	地域やボランティアなどを活用した事業を積極的に実施することで地域ならではの運営に努めた。オリパラ機運醸成、SDGs および角野栄子児童文学館の認知度向上に取り組んだ。利用者アンケートも例年高い評価を得ている。		
3	施設の維持管理に関する事務	日常点検や計画的な補修により、快適な読書環境を提供している。また、館内の巡回業務や職員による積極的な声掛けにより、安全・安心な環境が維持されている。		
4	経理管理等に関する事務	指指定管理料、委託料ともに適正に執行されている。節電やこまめな温度調整による光熱水費の削減など、常に効率性を考慮した運営がされている。区への報告等も適切に行われている。		
5	図書館サービス業務	図書館サービスの基本であるレファレンスや蔵書構築など、職員の専門性を維持している。調べる学習コンクールでは、積極的に学校に働き掛けることで多くの参加者を集め、子どもたちの利用促進と学習意欲の喚起に努めた。書架配置や座席利用方法を工夫し、利用しやすい環境整備にも努めた。また、コロナ禍であっても、1 人でも多くの方にサービスを提供できるよう、前向きに取り組んだことも評価する。		
6	当初提案の計画に対する目標の達成	概ね目標を達成している。		
評価点		配 点	得 点	得点率
		165	141	85.5%
総合評価	【講評】			
B	職員の専門性を維持し、地域住民や区民生活に密着した事業を展開することで、質の高い図書館サービスを提供している。地域と積極的に関わり幅広い関係を築くことで、地域に根差した図書館運営を行っている。学校と積極的に関わることで児童・生徒の読書活動の向上にも努めた。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら新しい事業に挑戦し、多くの区民に利用されるよう、前向きに取り組んだ。			

総合評価の基準（得点率）

A：90%以上、B：70%以上 90%未満、C：50%以上 70%未満、D：40%以上 50%未満、E：40%未満